

## 中東の再生可能エネルギー事情



### 中東産油国で太陽光発電を

国営石油会社が主導する国も

アブダビ政府の Masdar 計画は、再生可能エネルギーの開発を推進していますが、いよいよ 10 メガワットの太陽光発電プラントをマスタートール・シティに建設します。

マスタートール・シティは、化石燃料を原則使わない経済特区で、昨年 2 月に建設を開始しています。

この中東で最大規模の太陽光発電プラントの建設は、米国の太陽電池大手 First Solar および中国の太陽電池大手 Suntech Power Holdings (無錫尚徳太陽能発電) が、それぞれ地元の太陽電池会社と協力して、5 メガワットずつ受け持ちます。

### 将来は自前で

Abu Dhabi Future Energy (ADFEC) の 100% 子会社 Masdar PV が太陽電池を製造します。

同社は、「ドイツに年産 70 メガワットの太陽電池製造プラントを建設しています。本国にもその 2 倍の製造能力のプラントを 2010 年中に稼働させる」(2008 年 9 月 9 日、Economist Intelligence Unit - ViewsWire) としています。

既に、製品の薄膜太陽電池モジュールの売り込みに成功しています。

「ドイツの太陽電池会社 Colexon Energy が長期購入契約を締結して」(2008 年 12 月 9 日、ADP Renewable Energy Track) います。

同じくドイツの「太陽電池会社 Parabel も購入に同意して」(2009 年 1 月 8 日、ADP Renewable Energy Track) います。

### 最大の産油国では

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2009年 1 月 21 日)

サウジアラビアの Nuaimi 石油鉱物資源相が昨年 3 月に、「我々は太陽光発電に投資してクリーンエネルギーの分野でもエキスパートになる計画である。我が国は、石油だけではなく、電力の輸出国にもなれる」(2008 年 3 月 3 日、Thomson Financial)と語りました。

その 1 ヶ月後、同大臣は、「太陽光発電は多分、世界のどこでも手に入る最良のクリーンエネルギーであり、必要なことは太陽エネルギーの使用を拡大することおよび太陽電池の効率を向上させること」(2008 年 4 月 10 日、Reuters News)と語っています。

そして、具体的に動き始めました。

昨年 12 月に、ドイツの太陽光発電システム会社 Conergy の子会社 Conergy Asia-Pacific が、地元の太陽電池会社と共同で、サウジアラビアのアブドラ国王科学技術大学に設置する 2 メガワットの太陽光発電プラントの建設を受注しました。

米国の Sunpower の太陽電池モジュールを使用します。

## ひとこと

アブドラ国王科学技術大学での太陽光発電プロジェクトの管理は、「政府に代わって Saudi Aramco が行ないます。」(2008 年 12 月 11 日、Middle East Company News)

Saudi Aramco はすでに、「自社のいくつかの施設等で太陽光発電を利用している」(2008 年 12 月 19 日、Platts Commodity News)そうです。

サウジアラビア王国では、太陽光発電は石油会社の仕事です。

(YY)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)